



ー奥銀谷～鷲原寺の古道を行くー

power-stone-walk (鉱石の町の散策)

朝来市生野町の奥銀谷小学校から山道を北に上ると、内山寺跡、熊野神社跡、弁天池があり、さらに釜床山を経て、朝来町岩津の鷲原寺に続く古道があります。

内山寺、熊野神社が廃寺、遷宮して50年以上になります。2009年春、この古道のウォークを知人に呼びかけたところ、数名の方々のご参加を得て、春の一日を楽しみました。

きっかけは生野銀山開坑1200年イベントに出した内山参道にある千手観音の写真です。内山さんは子供のころの遊び場でしたが散乱している石仏が気になって参道の修復も兼ねて皆さんと行ってみることになりました。



法道仙人座像
延応寺蔵



奥銀谷小学校体育館横の寺町地蔵尊に集まり、チェーンソーを携えたおじさんを先頭に、クワ、スコップなどを持ち、天神坂を登ります。



埋もれている石仏を持ち上げると、奥野々〇〇氏とあり生野銀山の山師寄進のものでした。石仏には町名、屋号、名前が刻まれています。



石垣に着きます。子供のころ、城のようだったものです。社のあった昔は空に向けた長い石段だったと思われます。(寄進者、年代は現在、移転された小野区の現熊野神社で見られます。)



しばらく歩くと、水の流れる音が聞こえ、空が開けます。かつての繁栄も今は昔、インドから来た仙人の開いた古刹跡(廃内山寺)に到着です。



弁天池に架かる奥銀谷、小野講中寄進の太鼓橋も落ちてしまい、今や池の中です。



寺跡を抜け、木洩れ日の差し込む林を道しるべのマーキングしながら進行します。



苔むした倒木の処理をチェーンソーの達人にしてもらいました。長い間、人の往来のない道であることがわかります。



倒れていた観音さんも準備万端のワイヤーブラシで掃除しました。刻んである梵字で〇〇観音とわかるそうです。



広葉樹林の中は道の崩落箇所がひどく、今回少しでも道の改修をと思いましたが、少人数なので見送り。

今回は大体の倒木処理、道しるべの取り付けが出来ました。参加していただいた方々、お疲れ様でした。鶯原寺前の観音川を登ると、岩屋観音奥の院があります。内山寺と共に仙人ゆかりの古刹です。大陸から渡ってきた彼は何を求めて山を開いたのでしょうか？そんな古の道のロマンあふれるウォークでした。

全行程:6.3km 所要時間:4時間
この古道には、自由が丘(日下リンド園付近)、竹原野川向、サデの谷にも、ぬけられるそうです。みなさんも出かけてみられては！遊山で道を作るのも一興です！！

奥銀谷地域自治協議会・通信第4号 別冊

内山寺跡散策レポート、いかがでしたか。地域のみなさんには子供の頃の遊び場として、懐かしく思い出された方も多いのではないのでしょうか？

にぎわい部会では、今後「お宝マップ作り」を通して地元を見直し、地域を再発見しながら後世に残す取り組みを進めたいと考えており、内山さんの歴史調査や登山道の整備なども計画しています。

なお、7月下旬に「**内山寺跡・古道ウォーク**」を企画中で、詳細が決まり次第お知らせいたしますので、皆さまぜひご参加ください。 広報委員会